

動画でバーチャル臨床体験！



# REHAVIEW

リハビュウ/  
REHABILITATION

実習対策 編

編集 忽那 俊樹 東京工科大学 医療保健学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻 准教授  
吉田 真一 東京工科大学 医療保健学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻 助教

ムービーペイシエント 編

PT 編 編集 吉松 竜貴 東都大学 幕張ヒューマンケア学部 理学療法学科 准教授  
OT 編 編集 野本 義則 東京医療学院大学 保健医療学部 リハビリテーション学科  
作業療法学専攻 准教授

## 理学療法士・作業療法士養成校向け の 動画配信サービス

現役臨床家が書き下ろした完全オリジナルのテーマ設定で、  
リアルな臨床現場をバーチャル体験！

撮り下ろしオリジナル動画 約300本!!



MEDICALVIEW

# 養成校や病院の教育現場で、こんなお悩みありませんか？

年々、実習指導が  
大変になってきている

リハビリテーションの  
一連の流れが  
イメージできない

いまの学生に合った  
学習コンテンツが欲しい

＼ そのお悩み、REHAVIEW が 解決 します！ ／

## リハビューを導入すると…

学生指導の負担が大幅に削減！

1本あたり3~5分程度の動画が  
学内・学外を問わず視聴可能！

※ID / パスワード認証の場合

授業の補填ツールとして  
様々なシーンで広く使える！

臨床現場から求められる人材に！



動画は、皆様からの  
リクエストに応じて  
順次追加予定！

### 実習対策 編

約 100 本

臨床実習のあらゆる場面を取り上げ、実習先で求められる行動が一目でわかる **クイズ形式の動画集**。

学内では教えきれない **臨床実習で必要な社会性** を、  
実例に基づいて楽しく学べる内容です。



- 基本的な実習の心得やマナー
- 医療者としての心構え
- 患者さんへの配慮
- 臨床教育者との関わり方
- 検査の説明方法や結果の伝え方

……などの一般的な内容が学べます！



HDS-Rの結果の解釈



正しいユニフォームの着こなし方

体調不良時の対応







編集 忽那俊樹 先生

臨床実習で学生が余計な苦労をせず、貴重な経験に集中するために開発された、動画教材「リハビュー」。学生や臨床教育者の声を基に内容を厳選しており、臨床実習前教育や各種講義のサポートとして活用できます。



編集 吉田真一 先生

実習対策編は、学生アンケートを基に実習施設からの指摘や教員の指導虚しく起きた事案を、実情知る現場セラピストが演じ教育的視点で監修しました。章や事例毎にグループワークをしたり、いつでもスマートフォンで確認したりして実習に臨めるような形式です。後進に悪しき轍を踏ませず、実習に関わる全ての人に貢献できればと願っております。

## PT編

編集 吉松竜貴 先生



ペーパーペイシェント(文字情報)からひとりの人をイメージするのは初学者には難しいだろうと考え、リハビリテーションの全容がひとつのシリーズで完結するような動画教材として「ムービーペイシェント」を作りました。各シリーズには動画では説明しきれない情報を文書で表現した「患者情報」も付録としてお付けしています。1-2年生では実習準備や理学療法の学びはじめに、既に臨床実習を経験した3-4年生などでは、症例検討の題材として広くご活用いただけるものと思います。

## OT編

編集 野本義則 先生



本教材は学習者が興味を持って、能動的に学びやすいようになることを心がけました。実習や臨床で出会うことの多い、出来るだけ典型的なケースを取り上げ、一方でケースの参加や個人因子にも考えを馳せられるよう臨場感あるケース情報を示しました。また、治療者の思考過程が学習者に伝わりやすいように配慮しました。1-2年生は基礎の学びの先をイメージできるように、3-4年生では実習前後の具体的な症例学習に、卒後教育ではOff-JTのリアルな教材として、様々な学習者の効果的なアクティブラーニングに活用いただける教材になることを目指しました。



## 活用事例

現在リハビューを導入している学校様に活用の仕方を伺いました！

## 事例① 大学

実習中の注意点やリスク管理はオリエンテーション内の口頭説明だけでは学生に伝わらず、トラブルになるケースが多くありました。そこを補う形で、**実習対策編の厳選した動画を授業内で放映し、残りは自主的に視聴してもらうようにしています**。昨年、リハビューで実習イメージをつけた学生は実習施設から態度面を中心に良い評価を受けることができました。**実習指導の教員負担が大きく減ったことも実感しています**。今後は新機能のワークシートと組み合わせて、様々な授業でも活用したいです。

## 事例③ 専門学校

昨年より実習対策編の4章を軸に評価学の授業を展開しています。**4章step1の「検査測定方法の伝え方」は患者に説明する際の導入として、step2の「結果の解釈」は得られた結果をフィードバックする際の応用として、どちらも正解例の一つとして参考にしています**。新機能のワークシートではオリジナルのセリフを考えることができますので、活用の自由度が高く助かっています。**また、反転授業としての活用もできるので、資料の準備が楽になりました**。学生にとっては実習中にスマホ一台で信頼あるコンテンツが見られるのはとてもありがたいようです。

## 事例② 大学

臨床のセラピストがトップダウンでリハビリテーションを進めていく内容なので、**1年生に対して臨床現場の流れやセラピスト像を紹介する際に活用しています**。動画を見た全体的な感想と気になった部分をレポートとして提出してもらっています。また、PTだけでなくOTやSTなどの他科の学生に向けて臨床のリアルを見せられるのも魅力の一つだと思っています。

## 事例④ 専門学校

**症例検討や実習前後のOSCEの授業で展開**しております。実習前は動画で、実習後は「患者情報データ」と合わせることで、患者像のイメージが深まっていると思います。「術後ってこんなに痛そうなんだ」のように学生が前のめりに参加しているのも良い兆候だと思います。**以前は教員自身で症例を用意していたので、その負担が減ったのは非常にありがたいですね**。また、**「PTはこういう風に評価しているけど、OTならどのような評価が必要?」のように、職種を跨いだ授業展開ができる**のも面白いです。



※料金の適用は2026年1月から2026年12月末までです。

## 養成校(大学・短期大学／専門学校)様向け

### ▶ 施設購入プラン

右のご利用料金で、学内の皆様がアクセス可能となります。

<認証方法>

- 1) 契約法人のIPアドレス認証
- 2) ID/パスワード認証: 1つのID/パスワードを発行して納品します。

※同一法人内であっても別住所でご利用の場合は、別途お見積りいたします。

### ▶ 学年単位での個人購入プラン

⚠ 1学年の人数全員の方がご購入いただくことを前提にした販売形態です。

<認証方法>

- ID/パスワード認証: ご利用人数分のID/パスワードを個別で発行して納品します。

プラン	種別	年間利用価格
施設購入	大学 ・ 短期大学	550,000円 (本体500,000円+税10%)
	専門学校	385,000円 (本体350,000円+税10%)
学年単位	1名	5,500円 (本体5,000円+税10%)

## 病院様向け

### ▶ 施設購入プラン

右のご利用料金で、院内の皆様がアクセス可能となります。

<認証方法>

- 1) 契約法人のIPアドレス認証
- 2) ID/パスワード認証: 1つのID/パスワードを発行して納品します。

※同一法人内であっても別住所でご利用の場合は、別途お見積りいたします。

プラン	病床数	年間利用価格
施設購入	~199	110,000円 (本体100,000円+税10%)
	~399	165,000円 (本体150,000円+税10%)
	400~	330,000円 (本体300,000円+税10%)

## 養成校様向け リハビュ 個別オンラインセミナー

開催中!

参加無料!

年々ブラッシュアップされるリハビュのご紹介と、養成校様での活用事例や授業への落とし込み方、実際に導入している養成校様の様子をご覧いただけます。

お気軽に  
お申し込みください!



## 無料トライアル

1ヶ月間、本サービスと同等のサービスをお試しいただくことが可能です。

お申し込みは、「REHABILITATION VIEW無料トライアル申込書」にて学校様とお取引のある書店またはメジカルビュー社までお申し込みください。

※トライアル後の本契約は、改めてお申し込みが必要です。

〈特設ページ〉

▶ 本サービスの紹介動画やサンプル動画等、詳細をご覧いただけます。 →



<https://www.medicalview.co.jp/campaign/rehaview/>

※ご注文、お問い合わせは直接弊社営業部まで。

〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町2番30号

TEL.03(5228)2050 E-mail(営業部) eigyo@medicalview.co.jp

FAX.03(5228)2059 <https://www.medicalview.co.jp>

スマートフォンで  
書籍の内容紹介や目次が  
ご覧いただけます。



## 実習対策編 約100本

### 1章 Introduction

臨床実習とはどのようなものか、どのような日々を過ごすことになるのか、まずはその全体像を見てみましょう。Introductionでは、臨床実習の目的に加え、1日がどのような流れで進むのかを把握してください。

#### ● 実習の全体像

臨床での「実習」と学内での「実習」の違い

実習の1日の流れ～病院実習編～

実習の1日の流れ～通所・訪問実習編～

### 2章 実習前

実習が円滑に進み、有意義なものにできるかどうかは実習前の準備が大きく左右します。2章では、基本的な実習の心得やマナーについて、具体的な事例を交えた動画で学習しましょう。

#### ● 実習前に確認すること

担当教員へのコンタクト 実習の提出物

緊急時の連絡 配属施設への電話連絡

配属施設までの経路・所要時間

#### ● 身だしなみで注意すること

髪型 ユニフォームの着こなし

化粧 実習中の通勤服装

### 3章 実習中

実習初日・実習中に遭遇する、もしくは遭遇しやすい場面を、事前に疑似体験しておきましょう。こんな場面での対応や行動を想定し、自分ならどうするかを考えてみましょう。

#### ● 実習初日の行動

自己紹介 備品の確認

医師への挨拶

#### ● 実習中の行動

標準予防策（スタンダードプリコーション）

個人情報保護・プライバシーへの配慮

実習先の医療スタッフとのかかわり方

他の実習生とのかかわり方

患者への気配り

患者を移送した先で

患者家族への対応

急変患者への対応

知らない患者に声をかけられたら？

面会者に声をかけられたら？

インシデントやアクシデントを生じたら？

リハビリテーション室での見学時

廊下や通路での見学時

ベッドサイドでの見学時

見学時以外の行動

疑問の解決方法と注意点

通勤で注意すること

### 4章 検査・測定の導入と解釈

#### 患者への検査測定方法の適切な伝え方 (Step1.)、検査測定結果の解釈の仕方 (Step2.)

に焦点を当てて解説した動画は、リハビューザーの他にございません。

正確に実施するのはもちろんのこと、実習では、患者にわかりやすく“伝える”力、

正しく“考える”力も求められます。

#### ● Step1. 方法の伝え方 / ● Step2. 結果の解釈

バイタルサイン測定 血圧・脈拍数

疼痛検査 NRS (Numerical Rating Scale) + VAS (Visual Analogue Scale)

形態測定	肢長
	周径
	関節可動域測定 ROM (Range of Motion)
	徒手検査 MMT (Manual Muscle Test)
	感覚検査 表在感覚
反射検査	深部感覚
	複合感覚
筋緊張検査	深部腱反射
	病的反射
バランス検査	MAS (Modified Ashworth Scale)
	FRT (Functional Reach Test)
歩行能力検査	TUG (Timed Up&Go)
	10m歩行
片麻痺機能検査	Brunnstrom stage
	運動失調検査
運動失調検査	測定異常を疑う場合
	変換運動障害を疑う場合
	共同運動障害を疑う場合
	立位・歩行の平衡機能障害を疑う場合
認知機能検査	MMSE (ミニメンタルステート検査)
	HDS-R (長谷川式簡易知能評価スケール)

### 5章 患者とのコミュニケーション

患者とのコミュニケーションに不安を感じる学生は少なくありません。

むしろ、実習前の不安の大半がこの部分ではないでしょうか。

5章では、様々な状況における患者とのコミュニケーションスキルをまとめました。

#### ● こんな場面でのポジショニング

車椅子使用者 杖使用者 階段昇降時

#### ● 疾患別 患者とのコミュニケーション

失語症 認知症

難聴 半側空間無視

#### ● 状況別 患者への対応

車椅子 ルート類

### 6章 CEとのコミュニケーション

CE (臨床教育者)とのコミュニケーションに不安を感じる学生も少なくありません。関係性を良好に進めるためには、正しい立ち振る舞いが大切です。

6章では、実習中によくあるシチュエーションをもとに、CEとのコミュニケーションスキルをまとめました。

#### ● こんな場面での聞き方・話し方

報告の仕方 連絡の仕方

相談の仕方 用事を頼まれたら？

質問のタイミングは？

### 7章 実習後

ポートフォリオとは、学習者自身の意志で成果や情報を一元化したファイルのことを指し、作成を通じてプロセスの再確認と新たな価値の発掘をすることができます。

7章では、いま注目されるポートフォリオ評価について、作成方法から国家試験への活用方法までを、わかりやすく提示します。

#### ● 次の実習へ向けて

実習内容を凝縮ポートフォリオへ

### 8章 これだけはNG事例集

臨床で働く先生方のご意見をもとに、実習中、実際にあった学生のNG事例を紹介します。「何をしたらダメなのか」「なぜダメなのか」、事前にトラブルを回避するためのコンテンツです。

この発音には気をつけましょう

嗜好品の取扱い

施設内におけるスマートフォン・携帯電話の取扱い ①, ②

電子カルテの取扱い

## ムービーペイシェント編

リハビリテーションの一連の流れと具体的な患者像をイメージする『ペーパーペイシェントの動画版』です。  
代表疾患の疑似症例をもとに、セラピストの行動を視覚化しました。

## PT編 約80本

## 神経系

## ●脳卒中(脳梗塞) 急性期

Ep1 介入前日情報収集	Ep5 多職種カンファレンス
Ep2 初回介入・初期評価	Ep6 トイレ動作評価
Ep3 情報共有とFIMの決定	Ep7 最終評価
Ep4 理学療法介入2日目	Ep8 自宅退院後の様子

## ●脳卒中(脳梗塞) 回復期

Ep1 初回介入	Ep4 運動療法(座位歩行練習)
Ep2 初回カンファレンス	Ep5 運動療法(応用動作練習)
Ep3 運動療法(起立着座練習)	Ep6 家屋調査・その後の様子

## ●パーキンソン病 回復期(重症例)

Ep1 入棟が決まって	Ep5 基本動作練習
Ep2 他職種との情報共有と初期評価	Ep6-① ステップ練習(前編)
Ep3 理学療法介入3日目のリハビリテーション	Ep6-② ステップ練習(後編)
Ep4 車椅子の調整と装具の作成	Ep7 免荷リフトでの歩行練習

## 運動器系

## ●人工股関節全置換術(THA) 急性期

Ep1 術前理学療法の導入	Ep6 術後3日目・6日目の理学療法介入
Ep2 術前の動作指導	Ep7 術後6日目の多職種カンファレンス
Ep3 手術情報の収集と術後評価	Ep8 術後10日目の理学療法介入
Ep4 術後初日の理学療法介入	Ep9 術後11日目の多職種カンファレンス・退院後
Ep5 術後2日目の理学療法介入	

## ●腰椎圧迫骨折 維持期

Ep1 処方が出て	Ep5 NSTへの参加
Ep2 離床許可後のリハビリテーション	Ep6 再入院後45日目のリハビリテーション
Ep3 自宅退院後の生活	
Ep4 再入院	Ep7 退院前訪問指導・退院時の様子

## ●変形性膝関節症(KOA) 急性期～回復期

Episode1～10

## 内部障害(循環)

## ●心不全 急性期

Ep1 心臓リハビリテーションの導入	Ep6 40m歩行→ADLトイレ歩行開始
Ep2 初回車椅子乗車→車椅子ADL開始	Ep7 80m歩行→起立性低血圧症状あり
Ep3 10m歩行中止、看護師との情報共有	Ep8 80m歩行→240m歩行
Ep4 状態悪化のため車椅子ADL再開	Ep9 最終評価・カンファレンス
Ep5 10m歩行→ADL室内歩行開始	Ep10 包括的退院時指導・退院後

## 内部障害(呼吸)

## ●慢性閉塞性肺疾患(COPD) 急性期

Ep1 呼吸理学療法の導入	Ep6 多職種カンファレンス
Ep2 呼吸理学療法の初回評価	Ep7 運動療法(呼吸法・呼吸体操・歩行練習)
Ep3 ウィーニング開始時のかかわり	
Ep4 コンディショニングとプレトレーニング	Ep8 患者教育
Ep5 ベッドサイドでの離床練習	Ep9 多職種カンファレンス・退院後

## OT編 約100本

## 精神保健

## ●統合失調症 維持期～生活期

Ep1 作業療法の導入準備・導入面接	Ep5 調理活動
Ep2 多職種カンファレンス	Ep6 デイケアの様子:ピアティーチング
Ep3 作業療法短期目標の合意	Ep7 退院～退院後・新たな目標
Ep4 佐藤さんの目標に応じた作業療法の開始と経過	

## ●統合失調症 急性期～回復期, 生活期

Ep1 初回挨拶	Ep6 症状チェックシートの導入
Ep2 作業療法導入面接	Ep7 SST:コミュニケーション教室
Ep3 初回作業療法への導入	Ep8 買い物訓練(計画)
Ep4 小集団でのスポーツプログラムへの初参加	Ep9 デイケア初参加
Ep5 疾病教育	Ep10 アルバイト開始の報告

## 高齢期

## ●認知症 維持期～生活期

Episode1～10	
●パーキンソン病 急性期～生活期	
Ep1 これまでの生活～診断を受けて	Ep4 介護老人保健施設への入所
Ep2 通所リハビリテーションの開始	Ep5 卓球の再開
Ep3 訪問リハビリテーションへの移行	Ep6 通所リハビリテーションの再開

## 身体障害

## ●橈骨遠位端骨折 急性期～回復期, 生活期

Ep1 術前作業療法の導入	Ep4-② 術後初回介入(革装具作製)
Ep2 術前評価	Ep5 外来の作業療法介入
Ep3 術後評価	Ep6 仕事復帰
Ep4-① 術後初回介入(上肢機能訓練)	

## ●脳卒中(軽度CVA) 回復期～生活期

Episode1～10

## ●中心性頸髄損傷(SCI) 回復期～生活期

Ep1 作業療法の導入	Ep4 作業療法介入
- 初回評価:動作観察	Ep5 カンファレンスへの参加
Ep2 初回評価:身体機能	Ep6 作業療法再評価
Ep3 面談と目標設定	Ep7 退院後の生活に向けて

## ●脳卒中(高次脳機能障害) 回復期～生活期

Ep1 作業療法の導入	Ep5 トイレ動作の確認
Ep2 医療面接・基本動作の確認	Ep6 患者本人との面談
Ep3 初期評価	Ep7 多職種カンファレンス

## ●乳がん 急性期～回復期, 生活期

Ep1 術前作業療法	Ep5 IADL指導
Ep2 術後作業療法開始初日	Ep6 周術期作業療法終了
Ep3 積極的な作業療法開始(ドレーン抜去)	Ep7 リンパ浮腫発症後のリハビリテーション
Ep4 リンパ浮腫の予防指導	